

全道フットサル選手権大会 2023 女子の部

開催要項

2023年2月5日に赤字を更新

1. 主 旨 北海道のフットサルの普及・振興のため、女子 13 歳以上の学生・社会人のフットサル大会を開催し、併せてフットサル技術の向上と健康な心身の育成を図ることを目的として、本大会を実施する。
2. 名 称 全道フットサル選手権大会 2023 女子の部
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 共 催 北海道新聞社
5. 主 管 一般社団法人十勝地区サッカー協会、十勝フットサル連盟
6. 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、帯広市、帯広市教育委員会、帯広市スポーツ協会
7. 期 日 2023年2月11日(土)～2月12日(日)
8. 会 場 よつ葉アリーナ十勝(帯広市総合体育館)
北海道帯広市大通北1丁目1番地 TEL: 0155-22-7828 / FAX: 0155-22-7827
9. 参 加 資 格
 - (1) フットサルチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。)に「フットサル1種」、「フットサル2種」、または「フットサル3種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、移籍手続きなしの適用対象となる選手の年齢は、「フットサル1種」チームは、「フットサル2種」「フットサル3種」年代とし、「フットサル1種」の選手は適用対象外となる。「フットサル2種」チームは、「フットサル3種」年代のみとし、「フットサル2種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する2010年4月1日以前に生まれた選手であること。女子に限る。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (2) サッカーチームの場合
 - ① JFAに「2種」、「3種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「2種」、「女子」は、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、移籍手続きなしの適用対象となる選手の年齢は、「3種」年代のみとし、「2種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する2004年4月2日以降、2010年4月1日以前に生まれた選手で、女子に限る。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (3) ~~上記(1)及び(2)において、1母体から新たにフットサルチームやサッカーチームを登録してエントリーすることはできない。~~
 - (3) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
 - (4) 下記(公財)北海道サッカー協会フットサル大会登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
 - ① フットサルチームの場合 登録料 2,000円
 - ② サッカーチームの場合 登録料 4,000円
10. 参加チーム及びその数 参加チームは、16チームとする。

11. 大会形式
- (1) 1ブロック4チームによる予選ラウンド(リーグ戦)及び決勝ラウンドを**トーナメント形式**にて行う。なお、参加チーム数により変更・調整する場合がある。
 - (2) 予選ラウンドの順位決定方法
勝点(勝利3点、引き分け1点、敗戦0点)の合計が多いチームを上位とし、順位を決定する。ただし、勝点合計が同一の場合は、次の各号の順序により決定する。
 - ① リーグ戦の総得失点差
 - ② リーグ戦の総得点数
 - ③ 当該チーム間の対戦成績(イ:勝点 ロ:得失点差 ハ:総得点数)
 - ④ フェアプレーポイントの合計がより少ないチーム

(ア)警告1回	1ポイント
(イ)警告2回による退場1回	3ポイント
(ウ)退場1回	3ポイント
(エ)警告1回に続く退場1回	4ポイント
 - ⑤ 抽選
 - (3) 決勝ラウンドは、予選ラウンド各ブロックの成績上位2チームによる8チームのノックアウト方式で行う。
 - (4) 決勝トーナメントの3位決定戦を行なう。
12. 競技規則
大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。
13. 競技会規定
以下の項目については、本大会の規定を定める。
- (1) ピッチサイズは、原則として40m×20mとする。
使用する体育館の形状により変更する場合がある。
 - (2) 試合球は、モルテン製ヴァンタッジオフットサル4000(F9A4000)4号ボールとする。
 - (3) 試合には、選手14名以内のエントリーで、交代要員は、9名以内とする。また、ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数は2名以内とする。
 - (4) ベンチに入ることのできる人数は12名以内(交代要員9名、役員3名以内)とする。
 - (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5又はその時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
 - (6) ユニフォーム
 - ① JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - ② フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
 - ③ チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものであること。
 - ④ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩及び同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - ⑤ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - ⑥ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
 - ⑦ ユニフォームにゼッケン(張り番)が必要な場合は、ユニフォームと同色の布に番号と同色の番号を付け、必ず全ての面を縫い合わせたものを使用すること。

- ⑧ ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - ⑨ 正・副の2色については明確に異なる色とする。
 - ⑩ 主審は、対戦するチームのユニフォームが類似しており判別しがたいと判断した時は、両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - ⑪ 前項の場合、主審は両チームの各2組のユニフォームから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - ⑫ その他、ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程に則る。
- (7) 靴
キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。なお、チーム役員にも適用する。
- (8) ビブス
交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (9) 試合時間
- ① 予選ラウンド:
30分間(各15分間からなる2つのピリオド)のランニングタイムとし、ハーフタイムのインターバル3分(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。
 - ② 決勝ラウンド
24分間(各12分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバル8分(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。
- (10) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
- ① 予選ラウンドは、両チームの引き分けとする。
 - ② 決勝トーナメントの準決勝まで及び3位決定戦の試合で勝敗が決定しない時は、PK方式により勝敗を決定する。
 - ③ 決勝において勝敗が決定しない時は、10分間(各ピリオド5分間)の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは3分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
 - ④ 敗者戦において勝敗が決しない時は、引き分けとする。
- (11) タイムアウトは、決勝トーナメントの準決勝以降においてのみ適用する。
- (12) (競技規則第8条に定められている)キックオフの進め方に関し、本大会ではホームチームは存在しないものとして、対戦表の左(上)側に記載されたチームが、第1ピリオドにピッチに向かって左側のベンチに入り、右側のゴールに攻める。
- 準決勝および決勝にマッチコミッショナーを配置する。

14. マッチコミッショナー

15. 懲 罰

- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
- (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 前項により出場停止処分を受けたとき、また、本大会の終了時に、警告の累積は消滅する。
- (5) 本大会終了時点で未消化の出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

- (6) 本大会の大会規律委員会は、警告の累計 2 回による退場処分、及び出場停止処分 1 試合までの懲罰問題を処理する。
- (7) 大会規律委員会の委員長は、本大会の競技委員長とし、委員は 2 名以上で構成すること。
- (8) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

16. 参加料等

参加料 46,000 円(消費税込)

17. 参加申込

- (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手 20 名・役員 4 名を上限とする。
- (2) 参加申込は、所定の書式(下記(7)申込先(A)に記載の a ~ e)を下記(5)の期日までに申込先(A)の所属地区サッカー協会宛てに E-mail で送付すること(所属地区サッカー協会を通じて、申込先(B)、(C)に送付される)。
※チームは事前に所属地区サッカー協会の申込みアドレスを確認すること。
- (3) 参加料等は、申込みと同時に申込先(C)へ納入すること。
- (4) 親権者の承認印のある親権者同意書を下記(5)の期日までに申込先(B)に送付すること。なお、2022 年度中に提出済みの場合は不要。
- (5) 申込締切日 : 2023 年 1 月 25 日(水)17 時まで厳守。
- (6) 上記(5)申込締切日以降の参加申込内容の変更は原則として認めない。ただし、新型コロナウイルス感染症対策の必要上、自粛等が発生した場合は、追加・変更を認める。申請については、所定の用紙に必要事項を記入し、期日までに申込先(A)の所属地区サッカー協会宛てに E-mail で送付すること(所属地区サッカー協会を通じて、申込先(B)、(C)に送付される)。
追加・変更の手続きの期限は、2023 年 2 月 8 日(水)16 時までとする。
(ただし、新型コロナウイルス感染症防止対策のための検温を大会 2 週間前から行っていること。)

(7) 申込先(A) 所属地区サッカー協会事務局

a 参加申込書 (E-mail)

※選手及びチームの登録番号を必ず記載のこと。

b ユニフォームカラー報告用紙 (E-mail)

※ユニフォーム正副、裏表の写真貼付のこと。(デザイン画不可)

c ライブ配信申請用紙、被撮影承諾確認用紙 (E-mail)

d プライバシーポリシー同意書 (E-mail)

e 懲罰処分についてのアンケート (E-mail)

申込先(B) (公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町 5 丁目 5-41

北海道フットボールセンター 内

TEL:011-825-1100 FAX:011-825-1101

・親権者同意書(郵送) ※チーム対応

申込先(C) (一社)十勝地区サッカー協会

〒080-0018 帯広市西 8 条南 18 丁目 3-3 大西ビル2階

TEL:0155-21-6626 FAX:0155-21-6626

E-mail:tfa@tokachifa.com

・参加料 46,000 円(消費税込)

[大会参加料等振込口座]

帯広信用金庫 中央支店 普通預金) 1213914

社)十勝地区サッカー協会

18. 組合せ

組合せは、(公財)北海道サッカー協会において抽選し決定する。なお、組合せ結果は(公財)北海道サッカー協会の公式ホームページにて確認すること。

<https://www.hfa-dream.or.jp/> (大会情報・フットサル)

19. 帯同審判

本年度については、帯同審判制をとらないこととする。

20. 監督会議

(1) 日時 2023 年 2 月 8 日(水) 19 時 30 分から

- (2) 会 場 オンライン会議とする。
会議用URLは後日チーム連絡責任者宛てに送付する。
21. 開 会 式 開会式は実施しない。
22. 表 彰 及び閉会式 (1) 優勝、準優勝チームには表彰状及びトロフィーを、第3位のチームには表彰状を授与する。なお、優勝チームには(公財)北海道サッカー協会杯を授与して次回までこれを保持する。また、(一社)北海道フットサル連盟から優勝以下第3位まで表彰状を授与する。
(2) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場にて行う。
(3) 共催者から優勝、準優勝、最優秀選手賞(MVP)及び最も印象に残った選手にMIP賞を授与する。
23. 負 傷 及 び 事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
(2) 参加チームはスポーツ保険又はそれに準じた保険に加入していること。
24. 新型コロナ ウイルス 感染症対策 (1) 本競技会は、大会期間を通じ、「会場感染対策担当者」および各チームの「感染対策担当者」を設置する。試合前、会場感染対策担当者及各チームの感染対策担当者でミーティングを実施すること。ガイドラインにおいて、これらの担当者の擁立が不要となった際には、その通りとする。
(2) 本競技会において、「会場感染対策担当者」は主管地区協会フットサル委員長と会場責任者が務める。
(3) 選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・随行者など会場にいる全ての大会関係者は、会場感染対策担当者および各チームの感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。
(4) 本競技会は、感染対策のため無観客で実施する。
なお、随行者の人数は(公財)北海道サッカー協会フットサル委員会及び主管協会の判断にて決定する。
① 本大会における随行者の人数は、各チームの「登録選手数と同数」までとする。
② 随行者は、指定された観客席若しくは待機場所にて主に行動すること。
③ 随行者は、属するチームに帯同して移動すること。
④ 随行者は、ピッチに入る事は出来ない。
(5) 本競技会実施にあたっては、(公財)北海道サッカー協会によって更新される「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」最新版及び「新型コロナウイルス感染対策を踏まえたフットサル活動マニュアル」最新版を遵守し、大会関係者は健康チェックシートを都度会場運営責任者に提出すること。ガイドラインにおいて、健康チェックシート提出義務が不要となった際は、その通りとする。
(6) 新型コロナウイルス感染症対策については、別に定める「競技運営進行・施設利用上の注意点」について、遵守すること。なお、今後の新型コロナウイルス感染症に対する国・道の対応によっては、本大会を中止する可能性がある。
25. そ の 他 (1) マッチコーディネーションミーティング(以下、MCMという。)
① MCMは決勝トーナメントの準決勝以降から行なう。
② MCMは当該試合開始40分前に実施する。なお、決勝トーナメントの1回戦のユニフォームカラーの決定については、当該試合の前の試合のインターバル時に審判員若しくは運営役員から指定された場所にて行なう。(1試合目は適宜行なう。)
③ 準決勝・決勝においては、JFA認定マッチコミッショナー、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員出席のもと以下について行う。
(ア) 選手証のチェックを行う(MCMの際、各チーム持参すること)。

- (イ) FP 及び GK それぞれの正副 2 種類のユニフォーム(パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む)、競技中に着用するビブス(メーカーは不問。対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数色のビブスの用意があるのが望ましい。)を各色 1 枚持参すること。両チームのユニフォーム等の色を決定する。
 - (ウ) タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行う。
- (2) メンバー提出用紙
決勝トーナメントの 1 回戦は、当該試合の前の試合のインターバルに提出する。準決勝以降は MCM 時に提出すること。
- (3) 選手証
各チームの登録選手は、JFA 発行の選手証を試合会場に持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。なお、選手証を確認できない選手は、試合の出場を認めない場合がある。
※選手証とは、JFA 会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものであり、スマートフォンや PC 等の画面に表示したものは原則として認めない。
- (4) チームの監督は、監督会議の出席及び各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合又は試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに所属地区サッカー協会を通じて電子メールにより(公財)北海道サッカー協会に理由及び代理出席者(参加申込書記載の役員から)氏名を届け出ること。また、不測の事態により、当日急遽欠席する場合は、電話等で主管協会大会運営委員長に連絡すること。なお、監督が無断欠席の場合は、そのチームは原則試合出場を認めないものとする。
- (5) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (6) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (7) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (8) 練習等行動を共にしたエントリー外選手や関係者が、本大会開始前7日以内に下記いずれかの状況となった際には、(公財)北海道サッカー協会事務局に報告すること。(主催者、もしくは主管地区協会は、その状況に応じて当該チームの大会参加の可否について検討する。)
- ① 発熱等の健康異常がおきた場合
 - ② PCR 検査や抗原検査で陽性と判定された場合
 - ③ PCR 検査の判定を待っている場合
 - ④ 濃厚接触者と判定された場合
- (9) 組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、および主催者もしくは主管地区協会が新型コロナウイルス感染リスクを鑑みて参加を認めない場合も参加辞退と同様の扱いとし、既に支払われた参加料については返却しないこととする。
- (10) 本開催要項に記載のない事項については、(公財)北海道サッカー協会フットサル委員会にて決定する。

以上